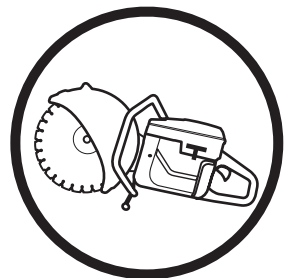


取扱説明書
K960
K960 Rescue

パワーカッターをご使用になる前に、この取扱説明書を注意深くお読みいただき、内容を必ずご確認ください



Japanese

シンボルマークの意味

シンボルマークの意味：

警告！警告！不注意な取扱や誤った取扱は、作業や周囲の人などに深刻な、時には致命的な傷害を引き起こすことがあります。



パワーカッターをご使用になる前に、この取扱説明書を注意深くお読みいただき、内容を必ずご確認ください。



常に下記のを着用してください。

- ・ 防護ヘルメット
- ・ イヤマフ
- ・ 保護メガネまたはバイザー
- ・ 呼吸マスク



本製品は、適用されるEC指令に準拠しています。



警告！切断の際には粉塵が発生し、人体に吸い込まれると危険です。適切な呼吸マスクをご使用ください。ガソリンの蒸気や排気を吸い込まないように注意してください。常に換気を十分に行ってください。



警告！キックバックは突然かつ急に、勢いよく発生し、命にかかわる傷害を発生させることがあります。マシンを使用する前に、マニュアルの説明をよく読み、理解してください。



警告！カッティングブレードから発生する火花から以下の可燃物に引火することがあります。ガソリン、木材、乾燥草など。

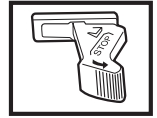


環境に対する騒音レベルは EC 指令に準拠。本機の騒音レベルは、主要諸元の章とステッカーに記載されています。



取扱説明書のシンボルマーク：

点検やメンテナンスを行うときは、まず停止スイッチを STOP の位置にして、エンジンを切ってください。



作動ポジション。



停止、リターンズプリングは操作ポジション。



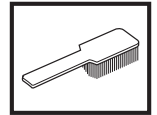
停止、固定ポジション。



常に保護手袋を着用してください。



定期的な清掃が必要です。



目視点検。



保護メガネまたはバイザーを必ず着用してください。



マシンに付いている他のシンボル/ステッカーは、諸地域固有の各種基準に対応したものです。

目次

目次

シンボルマークの意味

シンボルマークの意味： 2

取扱説明書のシンボルマーク： 2

目次

目次 3

各部名称

パワーカッターの各部名称 - K960 4

各部名称

パワーカッターの各部名称 - K960 Rescue 5

安全注意事項

新しいパワーカッターをお使いになる前に 6

使用者の身体保護具 6

安全に関する予備知識 7

パワーカッターの安全装置 8

カッティングブレード 10

一般的な作業方法 11

組立

ドライブアックスとフランジワッシャの点検 14

カッティングブレードの取付 14

ブレード用ガード 14

燃料の取扱

燃料 15

2 サイクルオイル 15

給油 15

始動と停止

始動前に 16

始動 16

メンテナンス

ドライブベルトの張り具合 18

ドライブベルトの交換 18

ベルトプーリーとクラッチ 18

キャブレター 18

燃料フィルタ 19

エアフィルタ 19

スターター装置 19

スパークプラグ 20

冷却システム 20

マフラー 20

一般的なメンテナンスの方法 21

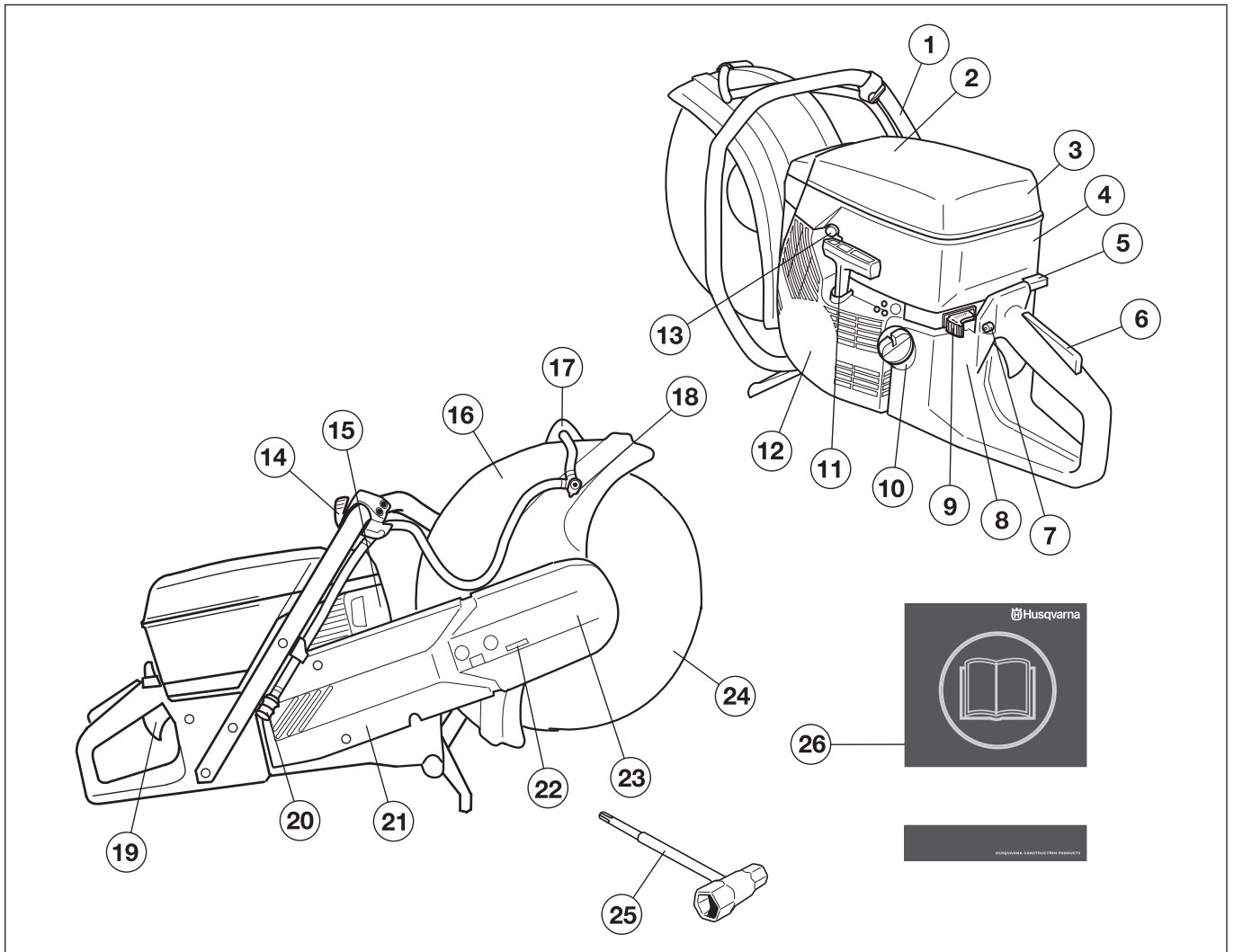
主要諸元

K960、K960 Rescue 22

カッティング装置 22

EC 適合宣言 23

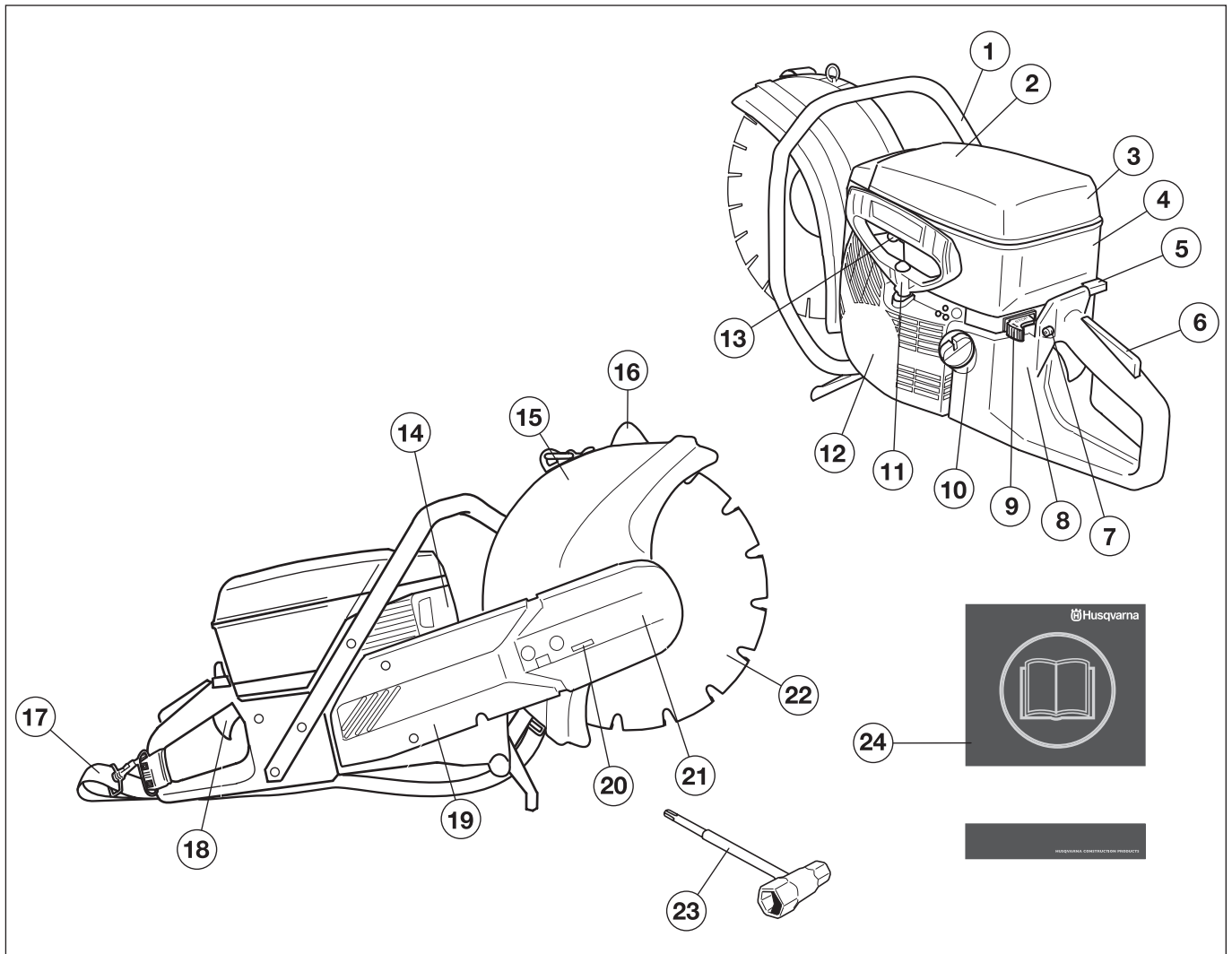
各部名称



パワーカッターの各部名称 - K960

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1 フロントハンドル | 14 水タップ |
| 2 警告ラベル | 15 マフラー |
| 3 エアフィルタカバー | 16 ブレード用ガード |
| 4 シリンダカバー | 17 ブレードガードの調整ハンドル |
| 5 チョーク | 18 水キット |
| 6 スロットルロックアウト | 19 スロットルコントロール |
| 7 スタートスロットル・ロック | 20 ウォーターコネクター |
| 8 型式銘板 | 21 カuttingアーム |
| 9 停止スイッチ | 22 ベルトテンションねじ |
| 10 燃料タンク | 23 カuttingヘッド |
| 11 スターターハンドル | 24 カuttingブレード |
| 12 スターター | 25 コンビレンチ |
| 13 デコンパバルブ | 26 取扱説明書 |

各部名称



パワーカッターの各部名称 - K960 Rescue

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1 フロントハンドル | 13 デコンプバルブ |
| 2 警告ラベル | 14 マフラー |
| 3 エアフィルタカバー | 15 ブレードガード |
| 4 シリンダカバー | 16 ブレードガードの調整ハンドル |
| 5 チョーク | 17 ハーネス |
| 6 スロットルロックアウト | 18 スロットルコントロール |
| 7 スタートスロットル・ロック | 19 カuttingアーム |
| 8 型式銘板 | 20 ベルトテンションねじ |
| 9 停止スイッチ | 21 カuttingヘッド |
| 10 燃料タンク | 22 ブレード |
| 11 スターターハンドル | 23 コンビレンチ |
| 12 スターター | 24 取扱説明書 |

安全注意事項

新しいパワーカッターをお使いになる前に

- ・ パワーカッターをご使用になる前に、この取扱説明書を注意深くお読みいただき、内容を必ずご確認ください
- ・ 組立カッティングブレードの調整をチェックします。「カッティングブレードの組立」の説明を参照してください。
- ・ エンジンを始動しアイドリングの設定を点検します。詳細は「メンテナンス」を参照してください。キャブレターが正しく設定されていると、カッティングブレードはアイドリング時に静止状態になるはずですが、アイドリング速度の設定については、「アイドリング速度の微調整 T」の項に説明があります。説明に従って、適切な速度に設定します。パワーカッターは、アイドリング速度が正しく調整されていない状態で使用してはいけません！
- ・ ハスクバーナの販売店に、定期的にパワーカッターの検査をさせ、重要な調整や修理を行わせてください。
- ・ レスキューブレードは、訓練を受けたスタッフが救助活動でのみ使用するものです。



警告！いかなる理由であれ、製造者の承認を得ることなくチェーンソーの設計に変更を加えないでください。常に純正の部品をお使いください。不認可の設計変更や付属品は、使用者やその他の人の重傷や致命傷の原因となることがあります。



警告！材料の切断、粉碎、穴あけ、サンディング、形成を行う機械を使用すると、人体にとって危険な化学物質を含んだ粉塵や蒸気が生成されることがあります。扱う材料の性質を理解して、適切な粉塵マスクまたは呼吸用保護具を着用してください。



警告！不注意な取扱や誤った取扱をすると、パワーカッターは危険であり、重傷や時には致命傷の原因となります。本書をよくお読みになり、内容を理解することが非常に重要です。



警告！本機のイグニッションシステムは、運転中に電磁場を生成します。この電磁場は、場合によってペースメーカーに影響を及ぼすことがあります。重傷や致命傷の危険性を低減するため、ペースメーカーの使用者は、本機を使用する前にまず医師とペースメーカーの製造元に確認を取ることをおすすめします。

ハスクバーナ・コンストラクション・プロダクツは継続的に製品の開発を行っています。ハスクバーナは設計や外見などを予告なく変更する権利を有し、また、デザイン変更をそのつど発表する義務を負いません。

本書の情報およびデータのすべては、本書の印刷時に有効なものです。

使用者の身体保護具

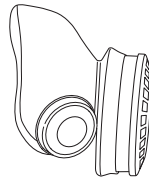


警告！本機を使用する際は、承認を受けた身体保護具を必ず着用してください。身体保護具で負傷の危険性を排除できるわけではありませんが、万が一事故が起こった場合、負傷の度合いを軽減することができます。身体保護具を選ぶ場合は、パワーカッターの販売店にご相談ください。

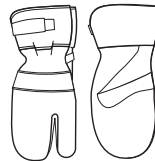
- ・ 防護ヘルメット
- ・ イヤマフ
- ・ 保護メガネまたはバイザー



- ・ 呼吸マスク



- ・ 高耐久性で、握りが確かな保護手袋



- ・ 体の動きを制限することのない、体にフィットした、丈夫で快適な服装。



- ・ 切断材料に応じた脚部保護の使用
- ・ つま先部スチール製、ノンスリップ靴底のパワーカッター用防護靴。



- ・ 常に救急箱を身近に備えてください。



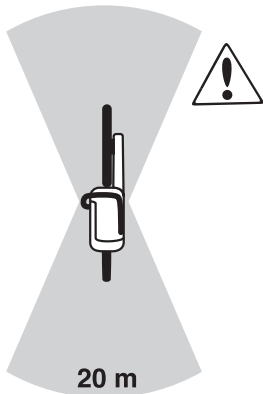
安全注意事項

安全注意事項

重要事項この取扱説明書の内容を完全に理解するまでは、パワーカッターを使用してはいけません。「パワーカッターの安全装置の点検・メンテナンス・サービス」の項に記載された事項だけでなく、すべてのサービスは必ず訓練を受けた専門家が行ってください。

職場の安全

- 作業場所を清潔に、照明を明るく保ちます。乱雑であったり暗い場所では事故が起こりやすくなります。
- 本機を室内で始動しないでください。エンジンの排気ガスを吸入すると危険です。
- 濃霧、雨、強風、厳寒など、気象条件の悪いときは、本機を使用しないでください。悪天候下での作業は、疲れやすく、また、地面が凍結していたりなどして危険です。
- 作業場所にある障害物を片付け、足場を確保してから切断作業を開始してください。予期しない障害物が移動してぶつからないように、注意を払ってください。切断時に切断物が安定を失い倒れて、障害を引き起こさないように注意してください。斜面での作業は特に注意が必要です。
- 配管や電気ケーブルが、切断作業場に配置されていないことを確認してください。
- 周囲を見渡してください。
 - 近くの人や動物、または他の物がパワーカッターの操作に影響しないことを確認します。
 - 上記のいずれも、切断ブレードと接触しないようにします。
- レスキューブレードは、対象物から断片を切り取るため、不適切な状態ではカーバイドチップが裂けたり、高速で飛び散る可能性があります。危険な現場に関係者以外の人や動物がいないことを確認してください。



警告！換気が正しく行われていない場所では、マシンを使用しないでください。換気が不十分であると、重大な傷害や死亡を引き起こすことがあります。



警告！パワーカッターの安全距離は15メートルです。操作者は、動物や傍観者が、作業場所にいないことを確認する責任を負っています。切断は、作業場所に問題がなく、足場がしっかりしている場合にのみ、開始してください。

個人の安全

- 身体保護具を着用してください。「身体保護具」の項の説明を参照してください。
- 疲労時や飲酒後、視野・判断力・動作に影響を及ぼすような医薬品を服用している場合は、絶対に本機を使用しないでください。
- 本取扱説明書の内容を理解していない人には決して本機の使用を許可しないでください。
- 衣服や体の部分が、回転している状態の切断装置に接触しないようにしてください。
- 切断装置が回転しているときは、安全な距離を保ってください。
- 切断装置のガードが、マシンの運転時にはいつでも取り付けられている必要があります。
- 常に安全かつ安定した足場でパワーカッターを使用していることを確認してください。



警告！循環器系に障害のある人が振動を長期間受け続けると、循環器障害や神経障害を起こすことがあります。振動が原因と思われる症状が出たときは、医師に相談してください。症状にはしびれ、感覚まひ、うずき、ちくちくする痛み、刺すような痛み、力が入らない、皮膚の色や状態の変化などがあります。これらの症状は通常、指や手の甲、手首に現れます。

使用上の注意

- パワーカッターは、石などの、硬い物質を切断するために設計されています。柔らかい物質を切断するときには、キックバックの危険性が増大することに注意してください。「キックバックを避ける方法」の項の説明を参照してください。
- 欠陥のあるパワーカッターは絶対に使用しないでください。本取扱説明書の内容に従って、点検、メンテナンス、サービスを行ってください。メンテナンスやサービスの内容によっては、訓練を受け、資格のある専門家でなければできないものもあります。詳細は、「メンテナンス」を参照してください。
- 何らかの改造を受け、出荷時の仕様とは異なっているパワーカッターは、絶対に使用しないでください。
- 切断装置が回転している状態のパワーカッターを移動させないでください。マシンには、停止時間を短縮するための摩擦抑制装置が備わっています。

搬送と保管

- パワーカッターは鍵のかかる場所に保管し、子供や使用権限のない者がアクセスできないようにしてください。
- カッティングブレードは乾燥した霜の発生しない場所に保管してください。

カッティングブレード

- カッティングブレードを付けたままパワーカッターを保管したり、運搬しないでください。使用後はすべてのブレードを取り外し、注意してブレードを保管してください。
- 研磨ディスクは注意して取り扱ってください。研磨ディスクは必ず水平にして保管してください。研磨ディスクを湿気のある場所で保管すると、バランスが悪くなり、負傷の原因になります。
- 新品のブレードは、運搬や保管による損傷がないか点検してください。

安全注意事項

燃料の安全について

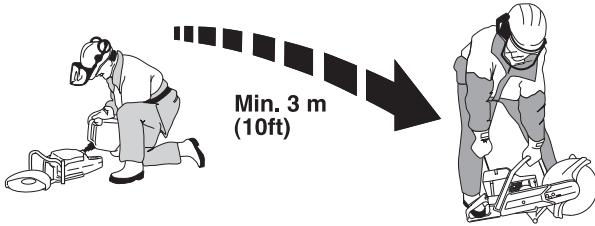


(給油・燃料の混合・保管)



警告！燃料の取扱には十分注意してください。火災発生や爆発、有毒ガスの吸引などの危険にご注意ください。

- ・ エンジンの作動中は絶対に給油を行わないでください。
- ・ 燃料の補給や混合（ガソリンと2サイクルオイル）を行うときは、十分に換気してください。
- ・ 給油後は、給油した場所から少なくとも3 m離れたところで始動してください。



- ・ 下記の条件では、決して本機を始動しないでください：
 - 燃料がこぼれた場合。きれいに拭き取り、表面に残った燃料が蒸発するのを待ちます。
 - 皮膚や衣服に燃料をこぼしたとき。まず着替えを行います。皮膚についた燃料を洗い流してください。石鹸と水を使用します。
 - 燃料が漏れている場合。燃料キャップと燃料ホースから漏れていないか、定期的に点検してください。
- ・ パワーカッターと燃料は、電気機器、電気モーター、リレー/スイッチ、ボイラーなど、火花や裸火を発生するものから離して保管・運搬し、液体漏れやガスによる火災発生の危険性をなくしてください。
- ・ 燃料の保管には、保管専用に承認された容器を使用してください。
- ・ パワーカッターを長期間保管するときは、必ず燃料タンクを空にしてください。余剰燃料の廃棄場所は最寄りのガソリンスタンドにご相談ください。
- ・ 流出防止バルブの付いている HUSQVARNA の燃料容器を必ずご使用ください。



警告！火災発生や爆発、有毒ガスの吸引などの危険にご注意ください。給油の前にはエンジンを止めてください。燃料が溢れないように、給油は満タンにしないでください。地面やパワーカッターの上にこぼれた燃料を拭き取ってください。燃料が作業員または作業員の衣服にこぼれた場合。衣服を着替えてください。給油後は、給油した場所から少なくとも3 m離れたところで始動してください。

パワーカッターの安全装置

このセクションでは、パワーカッターの各種安全装置とその目的について、また、各安全装置が正しく機能するための点検やメンテナンスの方法について説明しています。安全装置の配置については「各部名称」を参照してください。



警告！安全装置に欠陥のあるパワーカッターは決して使用しないでください。このセクションの説明にしたがって点検、メンテナンス、およびサービスを定期的に行ってください。

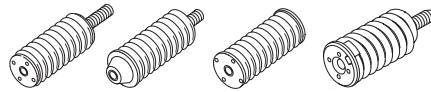
本機に関するすべてのサービス、修理には、特別な研修が必須です。本機の安全装置には、特にこのことが当てはまります。本機が下記の検査のいずれかに不合格であったときは、サービス代理店に連絡してください。弊社の製品を購入された場合、専門的な修理とサービスの提供が保証されています。パワーカッターを販売した小売店がサービス代理店ではない場合、最寄りのサービス代理店の住所を小売店にお尋ねください。

振動軽減システム

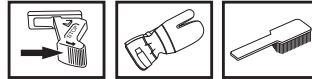
本機には振動軽減システムがついており、振動をやわらげ操作しやすくなっています。

本機の振動軽減システムは、エンジンユニットやカッティング装置とハンドル間の振動の伝導を軽減します。

切断装置を含むエンジン本体は、振動軽減ユニットによってハンドルを振動から守っています。



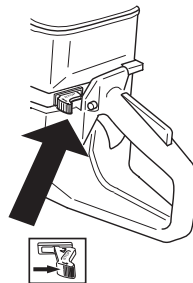
振動軽減システムの検査



- ・ 振動軽減システムにヒビや変形がないか、定期的に点検します。
- ・ 振動軽減システムがエンジンユニットとハンドルユニットにしっかり固定されていることを確認します。

停止スイッチ

停止スイッチはエンジンを切るときに使用します。



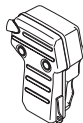
停止スイッチの検査

- ・ エンジンを始動し、停止スイッチを停止設定にしたときにエンジンが停止することを確認します。

安全注意事項

マフラー

マフラーは騒音のレベルを最小限に抑え、直接、排気ガスから使用者を防ぐ働きをします。



警告！ 使用中および使用直後のマフラーは非常に熱くなっています。熱くなっているマフラーには決して触れないでください！

エンジンの排気ガスは高温で火花を含むこともあり、火災発生の原因となり得ます。屋内や可燃物のそばでは、決して本機を始動しないでください！

マフラーには発ガン成分となり得る化学物質が使われています。万が一マフラーが損傷した場合、これらの物質に触れないようにしてください。

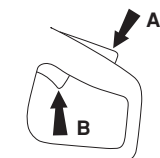
重要事項 マフラーに関しては、点検、メンテナンス、およびサービスの指示に従うことが非常に重要です。詳細は、「マシンの安全装置の検査・メンテナンス・点検」を参照してください。

マフラーの検査

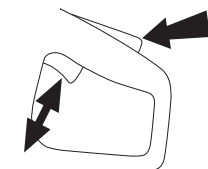
- 欠陥のあるマフラーを装着したパワーカッターは決して使用しないでください。
- マフラーが本機にしっかりと固定されているかどうか、定期的に点検してください。

スロットルロック

スロットルトリガーロックはスロットルトリガーの操作ミスを防ぐためのものです。ロック (A) を押すと、スロットル (B) が解除されます。



スロットルが押されている間は、トリガーロックは押されたままの状態を保ちます。ハンドルのグリップを放すと、スロットルトリガーとスロットルトリガーロックの両方が元の位置に戻ります。この動作は、2つの独立したリターン springs システムが制御しています。この構造はつまり、スロットルトリガーが自動的にアイドル状態にロックされることを意味します。

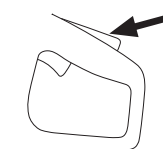


スロットルロックの検査

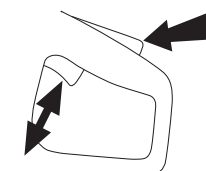
- スロットルロックを放したとき、スロットルトリガーがアイドルの設定になっていることを確認します。



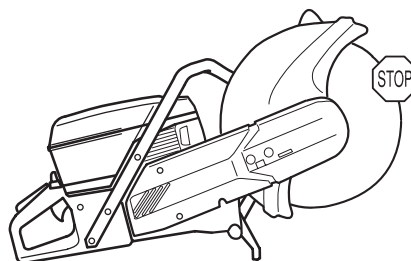
- スロットルロックを押し、指を放すと元の位置に戻ることを確認します。



- スロットルトリガーとスロットルロックがスムーズに動き、リターン springs が正しく機能していることを点検します。



- パワーカッターを始動し、フルスロットルにします。スロットルトリガーを放せば切断ブレードの走行が停止し静止状態が保たれることを確認します。スロットルがアイドルの位置にあるにもかかわらず切断ブレードが走行する場合は、キャブレターのアイドル調整をチェックしてください。詳細は、「メンテナンス」を参照してください。

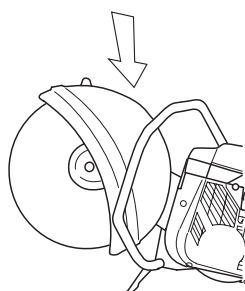


ブレード用ガード



警告！ 本機を始動する前はいつでも、ブレードガードが正しく装着されていることを確認してください。


カッティングブレードの上にガードが取り付けられています。ガードはブレードや切断小片が作業者に向かって飛ぶのを防ぐためのものです。



安全注意事項


ブレードガードの検査

- ・ ガードに問題がなく、ひびや変形のないことを確認します。
- ・ 欠陥のあるガードや、正しく装着されていないガードは使用しないでください。



警告！本機を始動する前はいつでも、ガードが正確に装着されていることを確認してください。カッティングブレードが正しく取り付けられており、損傷が存在しないことを確認します。損傷のあるブレードは、人的な傷害を招きます。「組立」を参照してください。

カッティングブレード



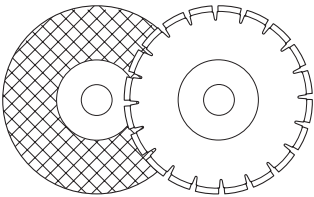
警告！カッティングブレードは炸裂し、作業者が損傷を受けることがあります。

パワーカッターよりも遅い定格速度のカッティングブレードを絶対に使用しないでください。

カッティングブレードを意図されていない材料には絶対に使用しないでください。

一般注意事項

カッティングブレードは 2 種類の基本デザインがあります。研磨ディスクと、ダイヤモンドブレードです。



高品質なブレードは、多くの場合、最も経済的になります。低品質のブレードを使用すると切断能力が劣化し、パワーカッターの耐用年数が短くなります。その結果、切断できる材料の量を考慮するとコスト高になります。

本機に取り付けられるカッティングブレードには、正しいブラシを使用してください。「カッティングブレードの組立」の説明を参照してください。

適切なカッティングブレード

カッティングブレード	K960	K960 Rescue
研磨ディスク	はい*	はい*
ダイヤモンドブレード	はい	はい**
レスキューブレード	いいえ	はい

*水なし

**乾式切断用のダイヤモンドブレード

様々な物質向けの切断ブレード

	コンクリート	金属	プラスチック
研磨ディスク	X	X	X
ダイヤモンドブレード	X		
レスキューブレード		X	X

手持ち式の高速マシン

弊社のカッティングブレードは携帯用高速パワーカッター用に製造されています。他社のブレードを使用する場合は、そのブレードがこのタイプのパワーカッター固有の必要条件を満たしていることを確認してください。

特殊ブレード

カッティングブレードの中には、固定装置やアタッチメント用に設計されたものがあります。これらのカッティングブレードは携帯用パワーカッターには使用できません。

地域の行政機関に相談して法令への準拠を守ってください。

ブレードの振動

フィード時にかかる圧力が高すぎると、ブレードには、ひびみが生じて、振動することがあります。

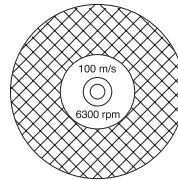
フィード時の圧力を下げることにより、振動を停止させることができます。あるいは、ブレードを交換します。ブレードは、切断対象物について推奨された種類を使用する必要があります。

研磨ディスク

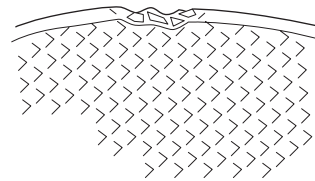
研磨ディスク上の切断素材は有機結合材で接着した粒子から構成されています。「補強ブレード」は繊維または繊維ベースの材料を使用しており、最高作動速度の際にブレードがヒビや損傷を受けても、完全に破損することを防止します。

カッティングブレードの性能は研磨粒子のタイプやサイズ、ならびに結合剤の種類および硬度により決まります。

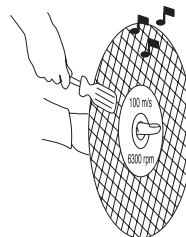
ブレードがエンジンの定格銘板に記載の速度あるいはそれ以上に準拠しているか確認してください。パワーカッターよりも遅い定格速度のカッティングブレードを使用しないでください。



ブレードにいかなるヒビや破損もないことを確認してください。



研磨ディスクを指で吊り下げ、ねじ回しのようなツールで軽く叩いてください。ディスクから共鳴音が聞こえないときは、破損しています。



安全注意事項

様々な材料のための研磨ディスク

ディスクのタイプ	材料
コンクリートディスク	コンクリート、アスファルト、石材、鋳鉄、アルミニウム、銅、真ちゅう、ケーブル、ゴム、プラスチックなど。
金属ディスク	鉄、鉄合金、その他の硬質金属。



警告！水と一緒に研磨ディスクを使用しないでください。研磨ディスクが水分に触れると、馬力が低下します。

ダイヤモンドブレード

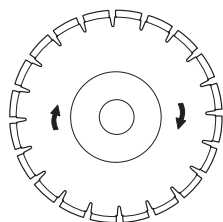


警告！ダイヤモンドブレードでプラスチック材を切断すると、切断に伴って熱が発生し材料が溶け、ブレードに付着し、キックバックを起こすことがあります。

ダイヤモンドブレードは産業用ダイヤモンドを含む刃先が鋼鉄製ブレード本体に付いた構成になっています。

ダイヤモンドブレードは交換頻度が低く、一定の切断深度を保つことができ、切断操作に係るコストを低減することができます。

ダイヤモンドブレードを使用するときは、ブレードに表記された矢印の方向に回転することを確認してください。



常に鋭利なダイヤモンドブレードをお使いください。

材料

ダイヤモンドブレードは石材、補強コンクリート、その他の複合材料の切断に適しています。ダイヤモンドブレードは金属の切断にはおすすめしません。

ダイヤモンドブレードは、様々な硬さの種類において提供されています。「ソフト」なダイヤモンドブレードは、使用期間が比較的短く、切断能力が高めに設定されています。これは、花崗岩や硬化コンクリートなどの硬い物質の切断に使用されます。「ハード」なダイヤモンドブレードは、使用期間が長く、切断能力が低めに設定されています。これは、レンガやアスファルトのような柔らかい物質の切断に使用されます。

K960 用レスキューブレード



警告！レスキューブレードは、訓練を受けたスタッフが救助活動でのみ使用するものです。不注意によって、重傷や死亡事故が起きる可能性があります。

レスキューブレードは、薄い鉄板（ステンレススチールや硬化鋼以外）、アルミ、木材、プラスター、その他の広範な混合物質など、救援サービスにおいて見受けられるほとんどの物質の切断を意図しています。レスキューブレードは、石材用ではありません。

乾式切断用ダイヤモンドブレード



警告！ダイヤモンドブレードは、使用中、非常に熱くなります。過熱したブレードは、変形し、マシンや使用者に対して被害を与えることがあります。

乾式切断を行うときは、ブレードを30から60秒ごとに切断部から持ち上げ、空気中で10秒間ほど回転させ、冷却させるようにします。

湿式切断用ダイヤモンドブレード

コンクリートを切断するときに水冷却を行うことによって、ブレードを冷却させ、その寿命を長くし、またほこりの堆積を減少させます。



警告！ダイヤモンドブレードは、使用中、非常に熱くなります。過熱したブレードは、変形し、マシンや使用者に対して被害を与えることがあります。

湿式切断をするときは、過熱を防ぐためにブレードが継続的に冷却されているようにします。

ダイヤモンドブレードの研ぎ方

ダイヤモンドブレードは、フィード時に間違った圧力をかけたり、強化鉄筋コンクリートなどの材料を切断すると、鋭さが失われます。にぶくなったダイヤモンドブレードで作業をすると、過熱を招き、これはダイヤモンドセグメントのゆるみを発生させることがあります。

砂 岩やれんがのような柔らかい物質を切断してブレードの目立てを行ってください。

安全注意事項

一般的な作業方法

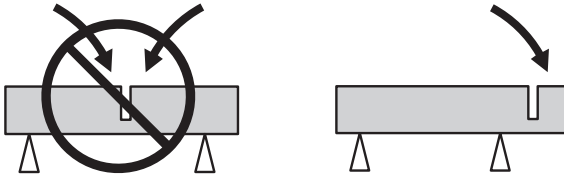


警告！このセクションでは、パワーカッターの使用に際しての基本的な安全注意事項について説明しています。記載された情報は、専門家の技術や経験に相当するものではありません。安全性に懸念が生じたら、作業を停止し、専門家のアドバイスを受けてください。本機をお買い上げになった販売店、サービス代理店やパワーカッター使用の経験が長い人などに相談してください。確信をもてない作業は行わないでください！

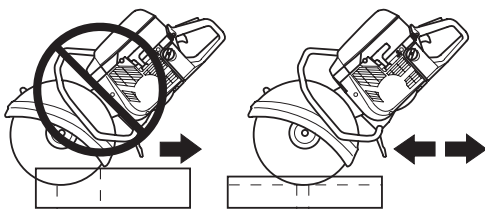
切断のテクニック

次に説明するテクニックは一般的なものです。各ブレードの切断特性に関する情報をお調べください（例えば、ダイヤモンドブレードは研磨ディスクよりもフィード圧が低いなど）。

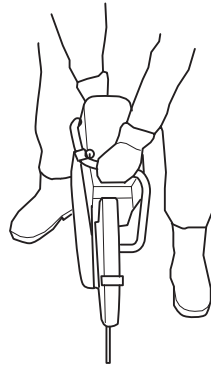
- 切断対象物は、次に何が起こるか予想でき、切断中に切断面が見えるような支え方をしてください。



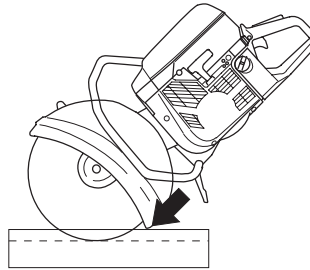
- カッティングブレードが正しく取り付けられていることを確認します。
- 常に、パワーカッターを両手でしっかりと握ってください。親指と4本の指で取り囲むようにしっかりハンドルを握ります。
- パワーカッターを始動するとき、ブレードに何も触れていないことを確認します。
- 常に最高速度で切断してください。
- ゆっくりと切断を開始します。ブレードを無理やり押し込んだりせず、パワーカッターの自然な作動にまかせます。常に最大速度で切断してください。
- ブレードをゆっくり前方、後方へ交互に移動しブレードと切断対象材料の間の接触部分を小さくします。これによりブレードの温度を下げ、切断効果が高まります。



- パワーカッターはブレードの線上になるように真っ直ぐに下ろします。横からの圧力はブレードが損傷を受け、非常に危険です。



- カッティング装置用ガードを適切に調整して、後ろ側が切断対象物と同一平面上になるようにします。ガードは切削くずや火花が飛び散るのを妨ぎ、使用者を保護します。

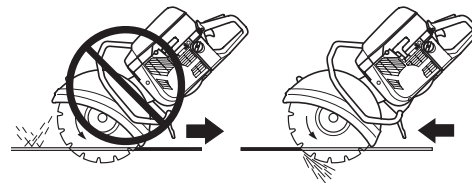


警告！いかなる場合でもブレードの側面で切断するのは避けてください。損傷や破損を起こし、重大な損害の原因となります。刃先の部分のみを使用してください。

パワーカッターを片側に引っ張らないでください。ブレードが詰まったり破損して人身事故を起こす原因となります。

レスキューブレードによる切断

- 板金で覆われた屋根など、薄くて硬い物質の切断は前方に向かって行う必要があります。こうすることで、詰まりや急な停止の原因となりうる巻き込みを防止することができます。

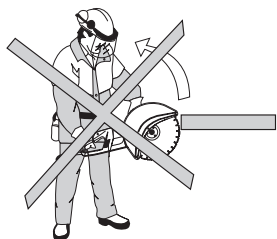


- 常に最高速度で切断してください。特に硬くて薄い物質の場合、ブレードを低速にするとカーバイドチップが詰まったり砕け散る可能性があります。
- ブレードが破損していないか、定期的かつ救助活動の後に毎回チェックすると同時に、以下についても確認してください。
 - カーバイドチップがカッティングブレードからゆるんでいないかどうか。
 - ブレードにゆがみがなく、ひびや他の損傷がないかどうか。

安全注意事項

キックバック

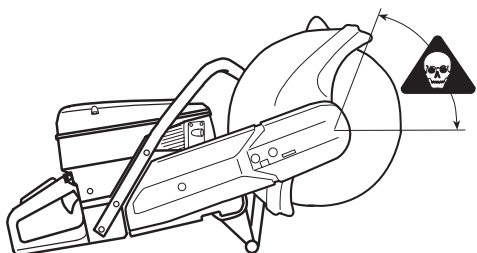
キックバックとは、ブレードの上部 1/4 のところ（キックバックゾーン）が何か他のものに接触し、パワーカッターとカッティングブレードが突然激しくはじき返される現象を言います。



警告！キックバックは突然激しく起こり、パワーカッターがはじき返されて、カッティングブレードが使用者に向かってくる現象を言います。カッティングブレードの回転中にキックバックが発生すると、重傷や時には致命傷の原因となることがあります。キックバックが起こる理由を理解し、正しい技術と慎重な作業で発生を避けることが非常に重要です。

一般的な原則

- 図に示されている、ブレードの先端上部 1/4 のところ（キックバックゾーン）で切断を開始してはいけません。



- 常に、パワーカッターを両手でしっかりと握ってください。親指と 4 本の指で取り囲むようにしっかりハンドルを握ります。
- バランスを保ち、しっかりした足場を確保してください。
- 常に最高速度で切断してください。
- 切断対象物からほどよい距離に立ちます。
- 既存の切れ目にブレードを挿入するときは注意してください。
- 肩より高い位置で切断を行わないでください。
- 切断対象物の動きや、その他起こり得るどんなことに対しても油断をしないでください。切断面が閉じたりブレードが挟まれたりすることがあります。

プルイン

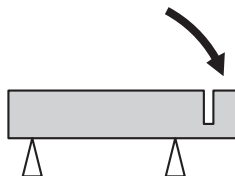
プルインは、ディスクの下側の部分が突然停止したり切れ目が閉じたりするときに発生します。（これを避けるには、「安全に関する基本事項」と下記の「挟み込み／回転」を参照してください。）

挟み込み/回転

挟み込みは切れ目が閉じるときに起こります。挟み込みが起こると、パワーカッターが、突然、非常に強い力で下方方向に引っ張られることがあります。

挟み込みの避け方

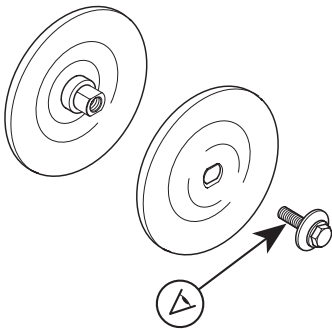
切断動作中、および切断後に、切断部分が開かれている状態が維持されるよう、作業対象物を固定しておきます。



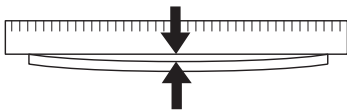
ドライブ車軸とフランジウォッシャーの検査



ドライブシャフト上のねじ山に損傷がないか確認します。
 カuttingブレードとフランジの接触面が平らで、スピンドル上に正しく置かれ、異物がないことを確認してください。



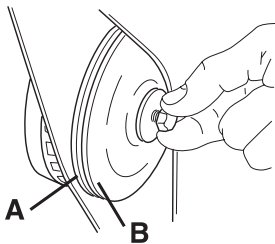
曲がっていたり、角がかけられていたり、不均衡であったり、または汚れているフランジウォッシャーは使用しないでください。違ったサイズのフランジウォッシャーは使用しないでください。



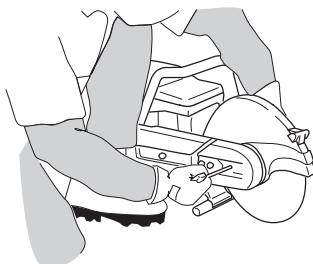
カuttingブレードの取付

Husqvarna のカuttingブレードは、フリーハンドでの切断のために製造および承認されています。ブレードの両サイドに紙ラベルがあり、フランジワッシャーの圧力を分散させ、ブレードが滑らないようにしています。

ブレードは、内部フランジワッシャー (A) とフランジワッシャー (B) の間のプッシング上に設置されます。フランジワッシャーを回し、軸へ取り付けます。



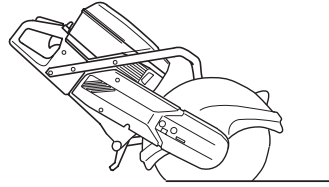
シャフトは、ドライバや鋼鉄製のピン、または同種のものを使用してロックできます。ピン等を止まるまで挿入します。ブレードを時計回りに締めます。



ブレードを止めているボルトの締め付けトルクは以下の通りです。15-25 Nm (130-215 in.lb)。

ブレード用ガード

ブレードガードを、パワーカッターに必ず取り付けてください。ガードが、背面部が作業対象物の方を向くように、調整してください。ガードは切削くずや火花が飛び散るのを防ぎ、使用者を保護します。



警告！ 16 インチブレードは、もともと 16 インチブレードガードが装備されているパワーカッターにのみ使用してください。スペアパーツとしてのガードを、12 または 14 インチのガードを装備しているパワーカッターに取り付けると、16 インチブレードは速く回転し過ぎてしまいます。あまりにも早く回転すると、カuttingブレードは破損したり、あるいは重大な損害を招くことがあります。

組立

燃料

注意！本機は2サイクルエンジンを搭載しているため、運転にはガソリンと2サイクル・エンジンオイルとの混合燃料が必要です。正しい混合率を確保するためには、オイルの量を正確に計量することが重要です。少量の燃料を混合する場合は、わずかな誤差でも配合に多大な影響を及ぼすことがあります。



警告！燃料を取り扱う際は、常に十分な換気を行ってください。

ガソリン

- 推奨される最低オクタン価は 90 です。90 以下のオクタン価でエンジンを作動させると、ノッキングの原因となることがあります。ノッキングが起きるとエンジンの温度が上がって、エンジンの深刻な損傷につながる可能性があります。

2 サイクルオイル

- 最良の効果を得るに、HUSQVARNA 2 サイクルオイルをご使用ください。このオイルは本機の 2 サイクルエンジン用として特別に作られています。
- アウトボードオイル (TCW) とも呼ばれる水冷式船外機用の 2 サイクルオイルは絶対に使用しないでください。
- 4 サイクルエンジンオイルも絶対に使用しないでください。

混合比

1:50 (2%)、HUSQVARNA 2 サイクルオイル

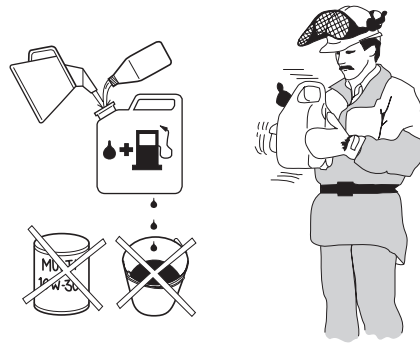
1:33 (3%)、オイルクラス JASO FB または空冷2サイクルエンジン ISO EGB

ガソリン、リットル	2サイクルオイル、リットル	
	2% (1:50)	3% (1:33)
5	0,10	0,15
10	0,20	0,30
15	0,30	0,45
20	0,40	0,60

混合

- ガソリンとオイルを混合するときは、常に清潔な燃料用容器をご使用ください。
- 必ず使用予定の半量のガソリンを、最初に容器に入れます。次に、オイルの全量を入れます。混合燃料をよく混ぜ（振り）ます。最後に残りのガソリンを加えます。

- パワーカッターの燃料タンクに給油する前に、混合燃料を良く混ぜ（振り）ます。



- 1ヵ月分以上の混合燃料を一度に作らないでください。
- パワーカッターをしばらく使わないときは、燃料タンクを空にし、清掃してください。

給油



警告！火災を避けるため、以下の注意を守ってください。

燃料付近で喫煙したり、近くに高温の物を置かないでください。

給油の際には必ずエンジンを止めてください。

給油の際には、超過圧力が徐々に放出されるよう、燃料キャップをゆっくり開けてください。

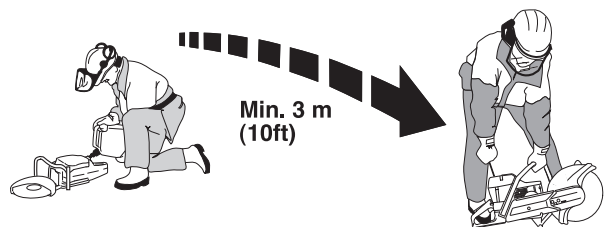
給油後は燃料キャップをしっかり閉めてください。

パワーカッターを始動する際は、必ず給油場所から移動してください。

- ハンドル部は乾いており、オイルや燃料が付着しないように気をつけてください。
- 混合燃料は、給油前に容器を良く振って混ぜてください。



- 燃料の給油時には、いつも注意を払ってください。パワーカッターを始動させるときには、給油場所から少なくとも3メートル離れた場所に移動させてください。燃料キャップが正しく締まっているか確認してください。



- 燃料キャップの周辺をきれいにします。燃料タンクとオイルタンクは、定期的な清掃が必要です。燃料フィルタは、少なくとも年に一度交換してください。タンク内の汚れは、故障の原因となります。

燃料の取扱

始動前に



警告！ 始動時には以下の注意点を守ってください。

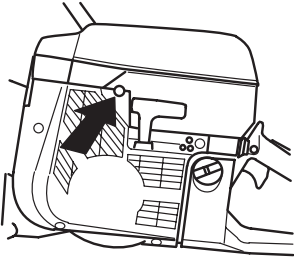
ベルトガードが装着されていない状態でパワーカッターを始動させないでください。クラッチが外れて負傷の原因となることがあります。

パワーカッターを始動する際は、必ず給油場所から移動してください。

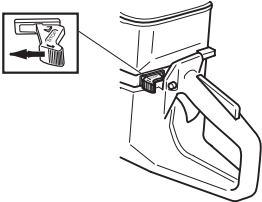
パワーカッターを正しく持ち、カッティングブレードが物に当たることなく自由に回転するようにしてください。

作業現場に関係者以外の人や動物がいないことを確認してください。

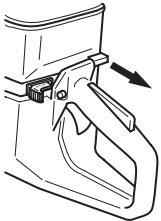
デコンパバルブ： バルブを押して、シリンダーの加圧を下げてください。デコンパバルブは、始動時には常に使用してください。パワーカッターの始動時、バルブは自動的に初期位置に戻ります。



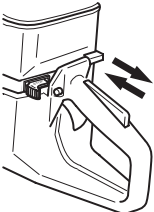
停止スイッチ： 停止スイッチ (STOP) が、左の位置にあることを確認してください。



スタートスロットル位置 - 常温エンジン： チョークを完全に引き出すことにより、スタートスロットル位置とチョークの状態にすることができます。



スタートスロットル位置 - 暖気エンジン： チョークコントロールを一度チョークの位置に引いてすぐ元に戻すと、チョーク/スタートスロットルは正しく設定されます。これはチョークの存在しないスタートスロットルの設定のみに関連します。



始動

左手で前ハンドルを握ります。後ろハンドルの下側に右足を乗せ、パワーカッターを地面に押し付けます。スターターロープは絶対に手に巻き付けしないでください。



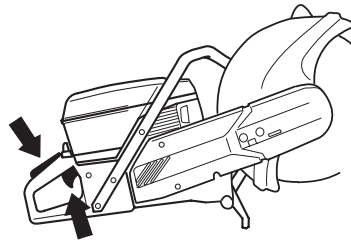
警告！ カッティングブレードは、エンジンが始動すると回転します。ブレードが自由に回転することを確認してください。

右手でスターターハンドルを握り、抵抗を感じる（歯止めにかかる）までゆっくりとスターターロープを引き出します。次に素早く、強くロープを引っ張ります。

注意！スターターロープをいっぱい引き出し、引っ張った状態からスターターハンドルを急に放さないでください。パワーカッターに損傷を与える可能性があります。

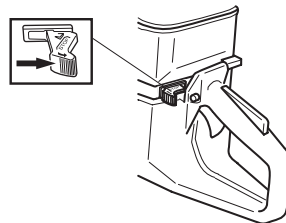
常温エンジンの場合：エンジンに点火したらすぐにチョークコントロールを押し、エンジンが始動するまでロープを引き続けます。

エンジンが始動したら、素早くフルスロットルにすることにより、自動的に高速アイドルが開放されます。



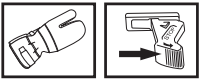
停止

ストップスイッチ (STOP) を右に移動させることで、エンジンが停止します。

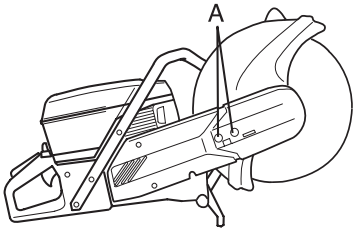


始動と停止

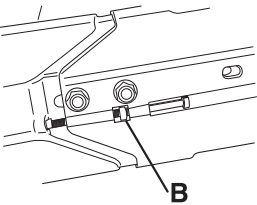
ドライブベルトの張り具合



- マシンの摩擦抑制装置が備わっている場合、手でブレードの向きを変えると、引っかくような音が聞こえることがあります。これは極めて正常です。ご質問があれば、Husqvarna の正規取扱店にお問い合わせください。
- ドライブベルトは完全密封され、ほこりや汚れから効果的に保護されています。
- ドライブベルトに張りを与えるために、カッティングヘッドとベルトガードを支えているねじ (A) を少し緩めます。



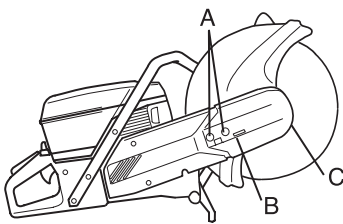
- ねじ (B) がガード上の矢印の真下になるように、テンションねじを回します。ヘッドを振り、スプリングによって確実にベルトが張れるようにします。こうするとベルトには自動的に適正な張りが与えられます。



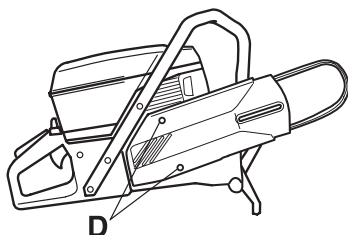
- カッティングヘッドを支えているねじを締めます。

ドライブベルトの交換

- 2個のねじ (A) を緩めます。



- 張りが緩むまでテンションねじ (B) を回します。
- 2個のねじ (A) を取り外します。
- フロントベルトガード (C) を外します。
- ベルトプーリーからベルトを外します。
- カッティングヘッドを取り外します。
- ねじ (1) を外します。サイドカバーを外します。



- ドライブベルトを交換します。
- 解体をした順番と逆の順番で、組立を行います。
- カッティングブレード上のブレードガードを検査し、ひび割れや損傷がないかを確認します。損傷があるときは交換します。



警告！カッティングブレード上にブレードガードがない状態で、パワーカッターを使用しないでください。

ベルトプーリーとクラッチ

ベルトプーリーとクラッチがメンテナンスのために外されているときは、決してエンジンを始動させないでください。

キャブレター

Husqvarna の製品は、有毒排気を減少させる仕様に基づき設計・製造されています。燃料タンクを8から10タンク分使用すると、そのエンジンの慣らし運転が終了したことになります。慣らし運転終了後、最高の性能を維持し、有害物質の排出を最小限に抑えるためには、エンジン回転計を備えた販売店/サービス代理店に、キャブレターの調整を依頼してください。

機能



警告！カッティングアームまたはカッティングヘッドが取り付けられていない状態で、パワーカッターを始動させないでください。クラッチが外れて負傷の原因となることがあります。

- キャブレターはスロットルを介してエンジンの速度を制御します。キャブレター内で空気と燃料が混合されます。

ニードル

キャブレターには、固定ニードルが取り付けられており、マシンが燃料と空気の正しく混合された状態をいつも保てるようにします。エンジンのパワーが足りない時、加速が悪いときは、以下を行います：

- エアフィルタを確認し、必要であれば交換します。
- 効果がないときは、弊社指定のサービス代理店に問い合わせてください。

アイドリング速度の微調整 T

アイドリング速度をTスクリューで行います。調整が必要であれば、ブレードが回転を開始するまで、スクリューを時計回りに回します。次に、ブレードが回転を停止するまで、スクリューを反時計回りに回します。エンジンがよどみなく加速するようであれば、アイドリング速度が正確に調整されています。

推奨アイドリング速度：2700 rpm



警告！アイドリング速度を調整しても、ブレードを停止させるような設定に調整できない場合は、販売店/サービス代理店にお問い合わせください。パワーカッターのご使用は調整または修理が適切に行われるまでお控えください。

メンテナンス

燃料フィルタ

- 燃料フィルタは、燃料タンクの内部にあります。
- 燃料タンクに給油するときは、不純物が入ることがないようにしてください。これによって、タンク内の燃料フィルタが閉塞することによる動作上の障害リスクを減少させることができます。
- フィルタが目詰まりした場合は、清掃することはできません。新しいものと交換してください。**燃料フィルタは、少なくとも年に一度交換してください。**

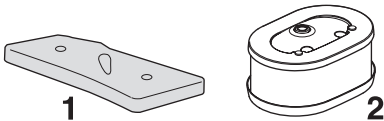
エアフィルタ



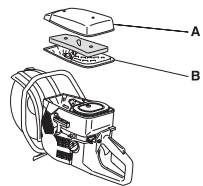
次のようなことが起きないように、エアフィルタは定期的

- キャブレターの故障
- 始動不良
- エンジン出力の減少
- エンジン部品の余計な摩耗
- 異常な燃料消費

エアフィルタシステムは、潤滑されたフォームプラスチックフィルタ (1) と紙フィルタ (2) によって構成されています。

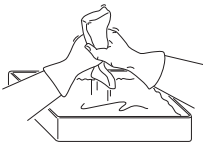


- フォームプラスチックフィルタは、フィルタカバーAの下で容易に見つけることができます。このフィルタは、週ごとに点検をし、必要であれば交換します。適切なフィルタ効果を得るため、フィルタは定期的



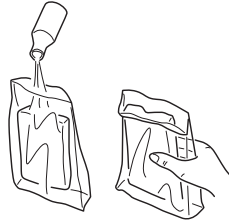
交換し、あるいは清掃・オイルをさします。専用のHUSQVARNA オイルが製造されています。

フォームプラスチックフィルタを取り外します。ぬるめの石鹸水でフィルタをよく洗います。洗浄後、フィルタをきれいな水ですすぎます。水けを絞り、フィルタを乾燥させます。注意！高圧の圧搾空気はフォームに損傷を与えることがあります。

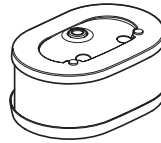


フィルタをプラスチックのバッグに入れ、フィルタオイルを上に流します。プラスチックバッグをもみ、オイルをまんべんなく広げます。プラスチックバッグ内でフィルタから余分な油を絞り、フィルタをパワーカッターに取り付け

る前に余分な油を切ります。一般的なエンジンオイルを使用しないでください。一般的なオイルは、フィルタを通じて非常に速く排出され、底にたまってしまいます。



- 紙フィルタはカバーBの下にあります。このフィルタは、エンジンのパワーが低下したときに交換/清掃する必要があります。フィルタは、振ることによって清掃できます。フィルタは洗浄をしてはいけません。注意！高圧の圧搾空気はフィルタに損傷を与えることがあります。



長期間使用したエアフィルタはどんなに洗っても完全にきれいにはなりません。定期的に新品のフィルタと交換してください。**破損したエアフィルタは必ず交換してください。**

重要事項 エアフィルタのメンテナンスを怠ると、スパークプラグに炭素がたまり、エンジン部品に異常な損耗が生じます。

スターター



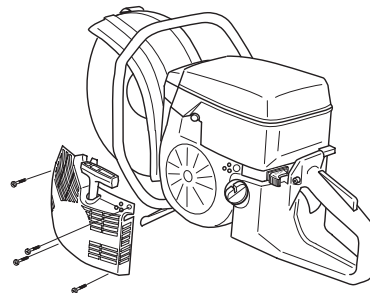
警告！ リコイルスプリングは引っ張られた状態でスターターハウジング内に収まっているので、不注意に取り扱おうと飛び出して人的傷害をもたらすことがあります。

リコイルスプリングやスターターロープを交換するときは、注意深く行ってください。常に保護めがねを着用してください。

切れたり擦り減ったりしたスターターロープの交換

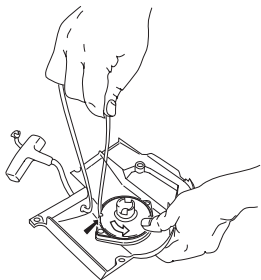


- フィルタとシリンダーカバーをゆるめます。
- スターターをクランクケースに固定しているねじをゆるめ、スターターを外します。

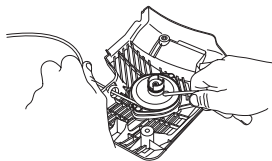


メンテナンス

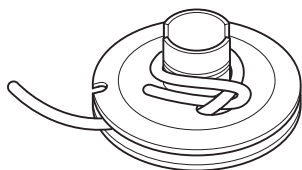
- ロープを約 30cm 引き出し、プーリー外周の切欠部にロープをかけます。プーリーをゆっくりと逆回転させ、リコイルスプリングの張力を解放します。



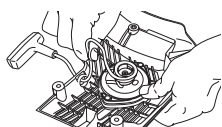
- 古いスターターコードの残りの部分を取り除き、リターンズプリングが動作することを確認します。新しいスターターコードをスターターハウジングとコードプーリーの穴を通して挿入します。



- スターターコードを、図のとおりコードプーリーの周りに固定します。締め具をよく締めて、自由端が可能な限り短くなるようにします。スターターコードの終わり部分をスターターハンドルに固定します。



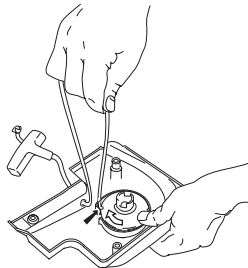
- コードを、プーリーの表面のカットアウトを通して導き、スタータープーリーの中心の周りに、コードを3回時計回りに巻きつけます。



- 次にスターターハンドルを引き、それによってスプリングを引き締めます。もう一度以上を繰り返しますが、今回は4回巻きます。
- スプリングを締めた後、スターターハンドルが正しくホームポジションにあることを確認します。
- スターターラインを完全に引き、スプリングが最終位置にないことを確認します。親指でスタータープーリーの速度をゆるめ、プーリーを少なくとも反回転で回すことができることを確認します。

リコイルスプリングの伸張

- スターターコードをプーリーの切欠部から引っ張り上げ、プーリーを時計方向に約2回転させます。

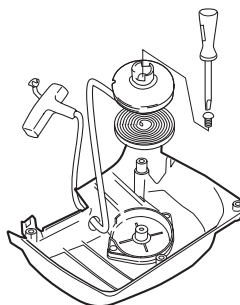


注意！スターターコードを完全に伸ばしたときに、スタータープーリーが確実に少なくともさらに半回転できるようにしておいてください。

破損したリコイルスプリングの交換



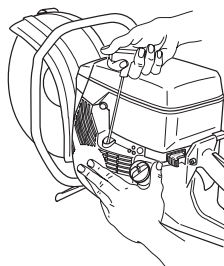
- プーリーの中心のボルトを外し、プーリーを取り外します。
- リターンズプリングが、スターターハウジング内で引き締められた状態であることを注意してください。
- スプリングカセットを固定しているボルトをゆるめます。



- ねじ回しを使用して、スターターを回し、フックをゆるめることで、リコイルスプリングを外します。フックは、スターター上のリターンズプリングの組立部を保持しています。
- リコイルスプリングに薄いオイルをさします。プーリーを取り付け、リコイルスプリングを引っ張ります。

スターターの取付

- スターターを取り付けるには、まずスターターロープを引き出し、スターターをクランク室の所定の位置に置き取り付けます。プーリーの中でつめがかむように、スターターロープをゆっくり放します。



- スターターを固定しているねじを取り付け、締めます。

メンテナンス

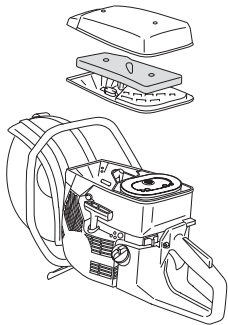
スパークプラグ



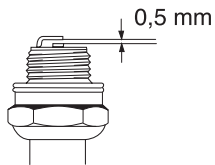
スパークプラグの状態は次の原因によって悪化します。

- 不適切なキャブレターの設定
- 間違った燃料混合（オイルが多すぎるなど）
- 汚れたエアフィルタ

これらの原因により、スパークプラグの電極に付着物が生じ、結果として故障や始動不良を起こす可能性があります。

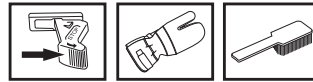


- パワーカッターの出力が低い、始動困難、アイドリング中の走行不良などの場合、まず始めにスパークプラグを点検してください。スパークプラグが汚れている場合は、清掃し、電極間隔が 0.5 mm になっているかどうかを確認します。スパークプラグは、運転約1か月間後、または必要に応じてそれよりも早く交換してください。



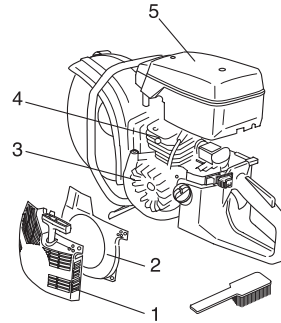
注意！スパークプラグは必ず推奨タイプのものを使用してください！不適切なスパークプラグを使用すると、ピストンやシリンダーを損傷する原因となります。

冷却システム



運転中の温度をできるだけ低く保つため、パワーカッターは冷却システムを装備しています。

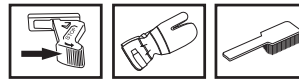
冷却システムは次のものによって構成されています。



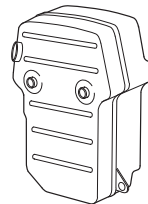
- 1 スターター装置の空気取り入れ口
- 2 通気ガイド
- 3 フライホイールの冷却フィン
- 4 シリンダの冷却フィン
- 5 シリンダカバー

1 週間に一度、あるいは過酷な条件での使用ならそれよりも多い頻度により、ブラシで冷却システムを清掃します。汚れた、あるいは詰まっている冷却システムは、パワーカッターを過熱状態にし、ピストンやシリンダーに損傷を与えることとなります。

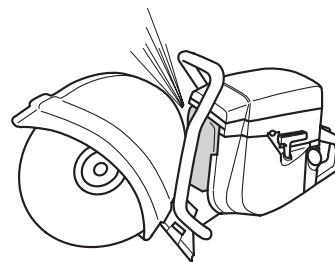
マフラー



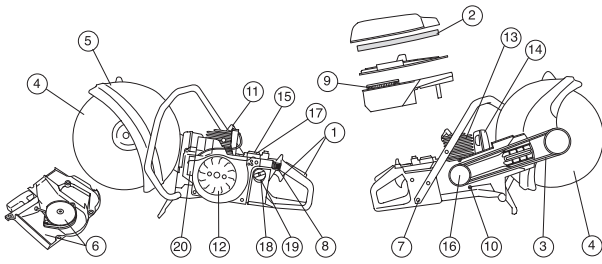
マフラーは騒音のレベルを最小限に抑え、排気ガスを使用者から遠ざける働きをします。排気ガスは高温で、火花を含むことがあります。火花が、乾燥した可燃性の物質に飛び移ると、火災を発生させることがあります。



欠陥のあるマフラーが取り付けられたパワーカッターは使用してはいけません。



一般的なメンテナンス方法



メンテナンスについて、概略を以下に説明します。詳しい質問がある場合は、サービス代理店に問い合わせてください。

毎日のメンテナンス

- 1 スロットルコントロールの部品が正しく働くかどうかを点検する（スロットルコントロールとスロットルトリガーロック）。
- 2 ドライブベルトの張り具合を点検する。
- 3 ブレードとドライブギアの状態を点検する。
- 4 ブレードガードの状態を点検する。
- 5 スターターおよびスターターロープを点検し、スターターユニットの空気取り込み口の外側を清掃する。
- 6 ナットおよびねじが確実に閉められているか点検する。
- 7 停止スイッチが正しく働くか点検する。

毎週のメンテナンス

- 8 メインフィルタを点検、清掃、交換する。
- 9 ハンドルや防振装置が損傷を受けていないか点検する。
- 10 スパークプラグを清掃する。電極間隔が 0.5 mm あるかどうか点検する。
- 11 フライホイールのフィンを清掃する。スターターとリコイルスプリングを検査します。
- 12 シリンダーの冷却フィンを検査する。
- 13 マフラーがしっかりと固定され、損傷がないことを確認する。
- 14 キャブレターの動作を確認する。

毎月のメンテナンス

- 15 紙フィルタを点検する。
- 16 クラッチセンター、ドライブギア、およびクラッチスプリングに摩耗がないか点検する。
- 17 キャブレターの外側を清掃する。
- 18 燃料フィルタと燃料ホースを点検する。必要に応じ交換します。
- 19 燃料タンクの内部を清掃する。
- 20 すべてのケーブルと接続部を点検する。

主要諸元

K960、K960 Rescue

エンジン

排気量、cm ³	93,6
口径、mm	56
行程、mm	38,0
アイドリング回転数、rpm	2700
推奨アイドリング最大回転数、rpm	9300 (+/- 250)
出力、kW/rpm	4,5/9000

イグニションシステム

イグニションシステムのメーカー	SEM
イグニションシステムの型式	CD
スパークプラグ	NGK BPMR 7A/ Champion RCJ 6Y
電極間隔、mm	0,5

燃料および潤滑システム

キャブレターのメーカー	Walbro
キャブレターの型式	RWJ-3A
燃料タンク容量、リットル	1,0

重量

燃料とカッティングブレードを除くパワーカッター本体、kg	
12" (300 mm)	10,4
14" (350 mm)	10,6
16" (400 mm)	10,4

騒音レベル

(注記1を参照)	
実測音響レベル dB(A)	114
音響パワーレベル、L _{WA} dB(A)により保証	116

音量レベル

(注記2を参照)	
使用者聴覚での等価音圧レベル、EN 1454 に基づく実測値、dB(A)	102

振動レベル

ハンドルの振動、EN 19432 に基づく実測値	12"	14"	16"
フロントハンドル、相当値、m/s ²	4.8	4.5	4.3
リヤハンドル、相当値、m/s ²	4.2	4.6	4.0

注記 1：環境における騒音の排出は、EC 指令 2000/14/EC に従って、音響パワー(L_{WA})として測定。

注記 2：等価騒音レベルは、以下の時間分割比で、アイドリングと最高速度の作動状態における騒音レベルの時間加重エネルギーとして計算されます：1/2 アイドリング、1/2 最高速度

カッティング装置

カッティングブレード 最大周速、m/s		出力シャフト最高速度、rpm
12" (300 mm)	80	4725
14" (350 mm)	100	4725
16" (400 mm)	100	3705



主要諸元

EC適合宣言

(ヨーロッパのみ適用)

Husqvarna Construction Products、SE-433 81 スウェーデン、パッティレ市、電話：+46-31-949000、は、2009年以降（年度は型式銘板のシリアル番号の前に記載）のシリアル番号のパワーカッター **Husqvarna K960**、**K960 Rescue** が、以下の議会指令の要件を満たしていることを宣言します：

- 1998年6月22日付け「機械類に関する」**98/37/EC**、付録 IIA
- 2004年12月15日付け「電磁波適合性に関する」**2004/108/EC**
- 2000年5月8日付け「環境への騒音排出に関する」**2000/14/EC**

騒音排出に関する詳細は「主要諸元」の章を参照してください。

次の標準規格にも適合しています：**SS-EN ISO 12100:2003**、**EN-ISO 55012:2002**、**ISO 19432**

SMP Swedish Maskinprovning AB（Fyrisborgsgatan 3, SE-754 50 ウブサラ、スウェーデン）は、議会指令 2000/14/EC の補足 V に従って適合性査定を実施しました。証明書の番号：**01/169/015**

2009年1月3日パッティレ

開発部長 Ove Donnerdal（オブエ・ドンネルダル）

1151469-79



2009-02-05